



### 改革概論(四)

大内 民 惠

#### 第五章 中學校

仕年幸徳事件に對して死刑の宣告をうけた飛松與四郎氏は明治大帝の

罪あらば我をとがめよ  
天つ神、民は我身の  
生みし子なれば

の添けなき、聖旨惠澤に浴  
無期懲役に して減刑

され秋田刑務所に十五年を  
おくり先帝陛下銀婚式を舉  
げさせられた當日、改悛の  
状態顯著なるの故を以て、假  
出獄の恩典にあつかり今や  
郷里熊本縣益城郡廣見村役  
場書記に更生し

九月五日  
第一四〇號  
第一四一號  
第一四二號  
第一四三號  
第一四四號  
第一四五號  
第一四六號  
第一四七號  
第一四八號  
第一四九號  
第一五〇號

どれ丈の効果を擧げ得るか等校の學科の程度の低いも  
問題でありませう。  
次に語は高等女學校に移り、縫手藝等を受けることにな  
ますが高等女學校は四年乃つて居り、等しく「國民道  
至五年の普通の  
高等女學校」と二年乃を涵蓋する一のが其目的な  
至四年の資料高等女學校とのである事は前に申しした通  
の二種あります、何れも申りてあります。

### 待ちくたびれる 平水道起債認可

#### 愈よ大藏省へ移つて 認可は六月下旬頃か

平水道起債認可は依然として此上ない幸福であら  
延を重ねてゐるが最近の情  
報によれば可否決定の實權  
者である内務省土木衛生課  
局に於て工事施行認可も共  
に決つてゐるらしく此五月  
中大藏省へ書類の回付であ  
る模様であつて町當局では  
工事施行認可なりと接手を  
望んで居るけれど矢張り工  
事財源である起債が確定せ  
なければならぬ筈のものな  
らぬのであらう大藏省には是  
れ迄の様なストップはなさ  
そうであるから六月中には  
正式認可を見ることが出来  
やうなものと其頃までに認可  
をして呉れれば地方の失業  
者も相當助かる譯で殊に貧  
困の働が一般労働者に

### 石城農試分 場の各傳習

△六月十一日病害虫駆除  
豫防(伊藤技師)七月十日  
秋蒔蒔の栽培法(矢ヶ  
崎技師)八月九日水田二  
毛作と畑地の利用(船  
技師)九月七日、麥作の改  
善と栽培上の注意及び畑  
作緑肥の栽培と利用(高  
根技師)十月六日漬物と

感謝の生活 に入つて  
ゐるのであります、文部當  
局も教員實際家も大にこの  
聖旨に鑑みなければならぬ  
ことと思ふのであります、茲  
まで書いて来た時に新聞が  
来たので開いて見たら文部  
審議會で可決發表した中學  
教育  
改善案中に 生徒教育  
の要旨を規定してあるのを  
見て頗る我意を得たものと  
喜んだ次第であります唯問  
題は現在の校長や教員が現  
在の様な教授方法によつて

栽培及び農具撰へと被田  
法(稲田技師、佐本場長)  
十一月五日蒔蒔の軟化と  
促成栽培(矢ヶ崎技師)十  
二月四日果樹園經營と剪  
定(稲田技師)二月八  
日肥料購入と配合の改善  
(菊地技師)二月果樹の肥  
修得書授與式以上

### 堤防の責任所在 地元の設計を直した

#### 新川にズリ出した

平町外二ヶ村(内郷、飯野)間なので既工事不成績の責  
悪水防組合に於て昨春一任所在を問はれて居る之れ  
千八百余圓を投じて改修さ  
れた平町新川岸片見 側の  
コンクリート築堤片側延長  
十二間ツ、のものが基礎軟  
弱の爲の約五寸程ズリ出  
たので緊急處置に松丸太で  
支へてゐる右工事は相當專  
門技術家の設計によつたも  
のである關係から端なくも  
世上の批難を受け一方組合  
に於ては去十二月平町役場  
に組合員を招集し同築  
堤の復舊及び別荘築堤後  
工事の起債等に關する協議  
を遂げたかヅリ出した築堤  
は下巾三尺五寸上巾一尺高  
さ十一尺の大きなもので什  
木が容易でなく該工事の請  
負者であつた平町荒川治  
氏により背部の土砂を除き  
機械力で位置に直し、石壁  
機軸力で位置に直し、石壁  
穿ちて後部に設く  
柱へロード、以て締め  
る事にまつた此の費用  
が三萬圓を要する模様で  
が同議席、事は、二萬  
圓へ八間ツ、を延長する計

### 大工町踏切改設

#### 本省へ運動開始

#### 本村、比佐兩代議士の の東道を求めて上京

平町が多年の所望であつたと眼るものでなく此際本省  
字大工町の踏切改設は高梁への運動を必要とするので  
道か地下道か何れにしても平町では割合に省みられな  
衆議院の請願委員會を通過し議會中の陣情を避け十三  
日の國會議終了と同時に歸郷  
ないが向後の不安は委員會される代議士本村清治氏の  
の通過が必ずしも實現する者都をまら前記踏切改設の  
壯丁は前年より九十名増加  
り九十名増加

### 石城郡の徴 兵検査日割

ふと同時に治療をすゝめて  
あるが本年の壯丁總數は二  
千五百六十八人で昨年の千九百  
六十六人より九十名を増加  
してゐる、

平町外二ヶ村(内郷、飯野)間なので既工事不成績の責  
悪水防組合に於て昨春一任所在を問はれて居る之れ  
千八百余圓を投じて改修さ  
れた平町新川岸片見 側の  
コンクリート築堤片側延長  
十二間ツ、のものが基礎軟  
弱の爲の約五寸程ズリ出  
たので緊急處置に松丸太で  
支へてゐる右工事は相當專  
門技術家の設計によつたも  
のである關係から端なくも  
世上の批難を受け一方組合  
に於ては去十二月平町役場  
に組合員を招集し同築  
堤の復舊及び別荘築堤後  
工事の起債等に關する協議  
を遂げたかヅリ出した築堤  
は下巾三尺五寸上巾一尺高  
さ十一尺の大きなもので什  
木が容易でなく該工事の請  
負者であつた平町荒川治  
氏により背部の土砂を除き  
機械力で位置に直し、石壁  
機軸力で位置に直し、石壁  
穿ちて後部に設く  
柱へロード、以て締め  
る事にまつた此の費用  
が三萬圓を要する模様で  
が同議席、事は、二萬  
圓へ八間ツ、を延長する計

ひました露座の大佛を拜  
關係委員會を開いて運動の  
親しむす頼朝の墓に鶴手宮を定め本村、比佐兩代  
議士の東道を求めて来る二  
びつ、護良親王の御岩尾  
十日頃委員一同上京熱心な  
運動をなすことになつた  
じでした、それから  
と悲憤の涙に歸途につき  
ました途中上野に下車し  
上野公園を見學し喜び、  
余り車中の人となりまし  
た驛々に下りる友のさよ  
ならの聲もなんとなく晴  
れやかに夜の空気を破つ  
て聞かれましたとして無事  
に平に着きました(十二  
日夕着信)

### 平町の 縣滞納額

平町前年度後期の縣稅滞納  
は現下の極端な不景氣から  
皆でない左記五千三百五十  
五圓余を見せ右に對して三  
月上旬から中旬に於て差押  
へを行ひ来る十九日公賣處  
分に付される筈であるが差  
押後縣金庫納入は約三分の  
二尚一千余圓を殘して其の  
中には未だ相當知名の人々  
も混つてゐる。

### 磐女關西

感銘の深い和の胸  
の唱に誘はれながら  
旅から(四)

平町が多年の所望であつたと眼るものでなく此際本省  
字大工町の踏切改設は高梁への運動を必要とするので  
道か地下道か何れにしても平町では割合に省みられな  
衆議院の請願委員會を通過し議會中の陣情を避け十三  
日の國會議終了と同時に歸郷  
ないが向後の不安は委員會される代議士本村清治氏の  
の通過が必ずしも實現する者都をまら前記踏切改設の  
壯丁は前年より九十名増加  
り九十名増加

△四日鹿島二七、玉川  
四二、湯本九九(一六八)  
五日澤渡四五、永戸五四  
草野七一(一七〇)六日小  
名濱一〇九、江名五五  
(一六四)七日平一八三、  
八日豊間五三、高久三五  
夏井三八、飯野三八(一  
六四)九日赤井六三、好  
間一〇七(一七〇)十日磐  
崎九三、川前二二、上小  
川四四(一六二)十一日  
日平窪四三、神谷四七、  
内郷七四(一六四)十二日  
内郷入九四合計一六〇  
九累計二〇五六八

△植田徴兵署六月二十八  
日勿來六七、山田二八、  
錦三三(計一八二)二十九  
日泉六三、渡邊二三、植  
田五四(四〇)三十日入  
遠野五四、上遠野四五、  
川前四一(一四〇)七月一  
日田部三九合計四四七人  
△平徴兵署大野五六、四  
倉六五、大浦四九(一七

平町が多年の所望であつたと眼るものでなく此際本省  
字大工町の踏切改設は高梁への運動を必要とするので  
道か地下道か何れにしても平町では割合に省みられな  
衆議院の請願委員會を通過し議會中の陣情を避け十三  
日の國會議終了と同時に歸郷  
ないが向後の不安は委員會される代議士本村清治氏の  
の通過が必ずしも實現する者都をまら前記踏切改設の  
壯丁は前年より九十名増加  
り九十名増加

